

いづかしちいきふくし かん ちょうさ  
飯塚市地域福祉に関するアンケート調査

## 【ご協力のお願い】

市民の皆様には、日ごろから市政に関して理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成25年3月に「第2期飯塚市地域福祉計画」を策定し、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指して施策を推進してきました。

この度、第3期計画の策定にあたりまして、市民の皆様のニーズや地域の課題についてご意見をおうかがいするため、アンケート調査をお願いすることといたしました。

このアンケートは、市内にお住まいの18歳以上の人から3,000人を無作為に選んでお送りしています。調査は無記名であり、ご記入いただいた内容については、統計的に処理し、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用することは一切ございません。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和4年●月

飯塚市

## 【回答の記入方法についてのお願い】

1. 回答は、令和4年●月現在の状況でご記入ください。
2. この調査の対象者は令和4年●月現在で抽出しております。この調査票を受け取られた時点で転出等住民票に異動がある場合にはご回答いただかなくても結構です。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。基本的には1つのみの選択となっておりますが、設問ごとにそれぞれ指定していますので、ご注意ください。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、**●月●日(●)までにご返送**ください。その際、切手を貼ったり、差出人の名前を記入する必要はありません。
5. 調査について、**または記入上ご不明な点やお手伝いが必要な場合は、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。**

## ●このアンケートはweb上でも回答ができます！

右のQRコードをスマートフォン等で読み取り、表示されたURLにアクセスしていただくことで、webページからアンケートを回答することができます。

QRコード

web上で回答した場合、紙のアンケート調査票を返送していただく必要はありません。

《問い合わせ先》 飯塚市役所福祉部社会・障がい者福祉課 社会福祉係

電話 0948-22-5500 (内線 1153)

Email: shakai@city.iizuka.lg.jp

ちいきふくし  
**■ 地域福祉って何？**

ふだん せいかつ なか  
 普段の生活の中で、ちょっとした不安や不便を感じたことはありませんか？

こ とうげこう ふあん さいがいじ たいおう しんぱい がいしゆつ こうつうしゆだん  
 子どもの登下校が不安…、災害時の対応が心配…、外出したくても交通手段がない…、  
 など 等。こういった不安や不便さはほんの少しの手助けや気づかいで解決できることがたくさんあります。

ちいきふくし もんだい ちいき なか かいけつ ちいき せいかつ ひと あんしん  
**「地域福祉」とはそういった問題を地域の中で解決し、地域で生活するすべての人の安心**  
**と幸せを実現するために、地域で暮らすみんなで “助け合い” “協力する” 取り組みのこ**  
 とを言います。例えば、隣近所の人にあいさつすることや子どもの安全を地域で見守ること  
 なども、地域福祉の活動といえます。

ちいきふくし じぶんじしん そな じじよ ぎょうせい  
 「地域福祉」には、自分自身でいざというときに備えること（自助）や、行政のサービ  
 ス（公助）に加えて、**地域で暮らすみんなの支え合い（共助）が大切**なのです。

<p>じじよ  <b>自助</b>          こじん かぞく          個人や家族</p>  <p>たとえば…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健康維持</li> <li>災害時の備え</li> </ul>	<p>きょうじよ  <b>共助</b>          ちいき          地域で暮らすみんな</p>  <p>たとえば…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見守り活動</li> <li>地域の交流</li> <li>助け合いの活動</li> </ul>	<p>こうじよ  <b>公助</b>          ぎょうせい          行政のサービス等</p>  <p>たとえば…</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童福祉サービス</li> <li>高齢福祉サービス</li> <li>障害福祉サービス</li> </ul>
--	--	--

ちいきふくし  
**■ これからの地域福祉をつくっていくために**

ちいき のことや、ひごろ感じる生活の課題等を一番よく知っている、

ちいき みな さんか きょうりよく ひつようふかけつ  
 地域の皆さんの参加と協力が**必要不可欠**となります。

しみんさんか いっかん しみん きょうりよく  
**市民参加の一環として、市民アンケートへのご協力を**  
**よろしくお願ひします。**

# あなたご自身についておたずねします。

問1 あなたの性別は？（ひとつだけ○）

1. 男性 2. 女性 3. その他／答えない

問2 あなたの年齢は、何歳ですか。（ひとつだけ○）

1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳  
5. 50～59歳 6. 60～64歳 7. 65～69歳 8. 70～74歳  
9. 75歳以上

問3 あなたの主な職業は何ですか。（ひとつだけ○）

1. 会社員、団体職員 2. 公務員  
3. 農林漁業自営主及び家族従事者 4. 商工業等自営主及び家族従事者  
5. 自由業（開業医、弁護士、文筆家等） 6. パート・アルバイト  
7. 学生 8. 家事専業（主婦・主夫）  
9. 無職・年金受給者  
10. その他（ ）

問4 あなたの家族構成はどのようになっていますか。（ひとつだけ○）

1. 単身（ひとり暮らし） 2. 夫婦（もしくはパートナー）のみ  
3. 二世帯世帯（親と子） 4. 三世帯世帯（親と子と孫）  
5. その他（ ）

問5 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の中に、次のような人（あなた自身も含まず）はおられますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 乳児（1歳未満） 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児  
3. 小学生 4. 中学生・高校生  
5. 65歳以上の人 6. 介護・支援を必要とする人  
7. 障がいのある人 8. いずれもない

とい 問6 あなたが<sup>す</sup>住んでいる<sup>ちいき</sup>地域はどちらですか。(ひとつだけ○)

- |                                   |                           |                             |
|-----------------------------------|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 飯塚地区 ( <sup>いいつかちく</sup> ①飯塚地区 | <sup>かたしまちく</sup> ②片島地区   | <sup>いいつかひがしちく</sup> ③飯塚東地区 |
| <sup>たていわちく</sup> ④立岩地区           | <sup>こうぶくろちく</sup> ⑤幸袋地区  | <sup>こもだちく</sup> ⑥菰田地区      |
| <sup>ふたせちく</sup> ⑦二瀬地区            | <sup>なますたちく</sup> ⑧鯨田地区   | <sup>ちんぜいちく</sup> ⑨鎮西地区 )   |
| 2. 穂波地区 ( <sup>ほなみちく</sup> ①平恒校区  | <sup>らくいちこうく</sup> ②楽市校区  | <sup>わかなこうく</sup> ③若菜校区     |
| <sup>むくもところく</sup> ④棕本校区          | <sup>たかたこうく</sup> ⑤高田校区 ) |                             |
| 3. 筑穂地区 ( <sup>ちくほちく</sup> ①内野地区  | <sup>かみほなみちく</sup> ②上穂波地区 | <sup>だいぶちく</sup> ③大分地区 )    |
| 4. 庄内地区                           |                           |                             |
| 5. 穎田地区                           |                           |                             |

※ 上記地区がわからない人は、住所(番地不要)をお書きください。例) 潤野、南尾  
<sup>いいつかし</sup>  
 飯塚市 \_\_\_\_\_

とい 問7 あなたは今お住まいの<sup>ちいき</sup>地域に住んで何年になりますか。(ひとつだけ○)

- |                                 |                                 |                                 |
|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. <sup>ねんみまん</sup> 5年未満        | 2. <sup>ねんいじょう</sup> 5年以上10年未満  | 3. <sup>ねんいじょう</sup> 10年以上20年未満 |
| 4. <sup>ねんいじょう</sup> 20年以上30年未満 | 5. <sup>ねんいじょう</sup> 30年以上40年未満 | 6. <sup>ねんいじょう</sup> 40年以上      |

とい 問8 あなたはどれくらい<sup>がいしゅつ</sup>外出していますか。<sup>さんぽ</sup>散歩や<sup>ウォーキング</sup>ウォーキング、<sup>かもの</sup>買い物など<sup>にっか</sup>日課に  
 していることや、<sup>しごと</sup>仕事も含めてください。(ひとつだけ○)

- |                         |                                 |                         |
|-------------------------|---------------------------------|-------------------------|
| 1. <sup>まいにち</sup> ほぼ毎日 | 2. <sup>しゅう</sup> 週4~5回         | 3. <sup>しゅう</sup> 週2~3回 |
| 4. <sup>しゅう</sup> 週1回   | 5. <sup>がいしゅつ</sup> ほとんど外出していない |                         |

とい 問9 <sup>しんがた</sup>新型コロナウイルスの<sup>かんせんかくだい</sup>感染拡大が<sup>すす</sup>進んでいる中、あなたが<sup>な</sup>困っていることはどのよ  
 うなことです。(あてはまるものすべてに○)

- |   |   |   |
|---|---|---|
| 1. <sup>しゅうにゅう</sup> 収入の減少  | 2. <sup>ししゅつ</sup> 支出の増加  | 3. <sup>しつぎょう</sup> 失業・働き口がない                   |
| 4. <sup>かじゅうろうどう</sup> 過重労働   | 5. <sup>はたら</sup> 働き方の <sup>かた</sup> 変化による <sup>へんか</sup> 負担      |   |
| 6. <sup>けんこうあつか</sup> 健康悪化(身体・ <sup>しんたい</sup> 精神)                                    | 7. <sup>がくしゅうきかい</sup> 学習機会・ <sup>がくりよくていか</sup> 学力低下             |   |
| 8. <sup>こ</sup> 子どもの <sup>あす</sup> 預け先の <sup>かくほ</sup> 確保                             | 9. <sup>かいごふたん</sup> 介護負担の増加                                      | 10. <sup>ちいきかつどう</sup> 地域活動の <sup>ていたい</sup> 停滞 |
| 11. <sup>ぶんか</sup> 文化・ <sup>げいじゅつ</sup> 芸術に <sup>きかい</sup> ふれる <sup>げんしょう</sup> 機会の減少 | 12. <sup>うんどう</sup> 運動・ <sup>うんどう</sup> スポーツ <sup>きかい</sup> 機会の減少 |   |
| 13. <sup>ちいき</sup> 地域における <sup>こうりゅうきかい</sup> 交流 <sup>げんしょう</sup> 機会の減少               | 14. <sup>がいしゅつ</sup> 外出の <sup>せいげん</sup> 制限                       |   |
| 15. その他 ( )   |   |   |
| 16. <sup>とく</sup> 特にない  |   |   |

「地域」とのかかわりについておたずねします。

問10 あなたは、ご近所の人とどのようなつきあいをされていますか。(ひとつだけ○)

1. 互いに相談したり、生活面で協力しあっている
2. 特に親しい人はなく、外で会えば世間話をする程度のつきあいをしている
3. あいさつはするが、話をするほどのつきあいはしていない
4. ほとんどあいさつもしない
5. 近所に誰がいるかも知らない

問10で「4」または「5」と回答された人におたずねします。

問10-1 ほとんどつきあいをされていない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 仕事などで家をあけることが多く、知り合う機会がない
2. 近所つきあいは面倒だと思うこともあるので、避けている
3. 近所つきあいはしたいが、つい消極的になってしまう
4. 単身・留守の家が多いなど、近所つきあいがほとんどない
5. 最近引っ越しして来た
6. その他( )

問11 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域で『手助けをしてほしい』と思うことがありますか。また、今後、ご近所とのおつきあいの中で、『手助けできる』と思うことがありますか。『手助けをしてほしい』と思うこと、『手助けできる』と思うこと、それぞれの欄に○をつけてください。(あてはまるものに○)

(※ここでいう「手助け」とは、介護保険サービスや障がいのある人への障がい者自立支援給付、保育所などの制度に基づく公的なサービス以外のものをいいます。)

	①「手助けをしてほしい」と		②「手助けできる」と	
	おもう	おもわない	おもう	おもわない
安否確認の声かけ	1	2	1	2
話し相手	1	2	1	2
買い物の手伝い	1	2	1	2
家事の手伝い	1	2	1	2
通院など外出の手伝い	1	2	1	2
短時間の子どもの預かり	1	2	1	2
高齢者などの見守り	1	2	1	2
災害時の手助け	1	2	1	2

問 1 2 あなたは、地域の助け合いが必要だと思いませんか。（ひとつだけ○）

1. 必要だと思ふ 2. 必要だと思わない 3. わからない

問 1 2 で、「2. 必要だと思わない」と回答された人におたずねします。

問 1 2 - 1 地域の助け合いは必要ないと思う理由は何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

1. あまり他人とのかわりをもちたくないから
2. 個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから
3. 住民相互の協力活動にはあまり期待できないから
4. 友人、知人との結びつきがあれば十分であるから
5. 地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応するものであるから
6. その他（ ）
7. わからない

問 1 3 あなたが住んでいる地域のことで「何とかしなければならぬ」と感じている問題はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. くらしや福祉について、相談できる人がいないこと
2. 住民同士のまとまりや助け合いが乏しい
3. 自治会の役員の手が足りないこと
4. 介護が必要な高齢者がいる世帯のこと
5. 障がいのある人がいる世帯のこと
6. ひとり親（母子・父子）家庭のこと
7. 一人暮らしの高齢者や障がいのある人のこと
8. 地域の人が交流する場がないこと
9. 子どもの非行やいじめのこと
10. 防災・防犯への取り組みのこと
11. 引きこもりのこと
12. その他（ ）

問 1 4 あなたは、これからも現在住んでいる地域に住み続けたいと思いませんか。（ひとつだけ○）

1. 住み続けたい 2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらかといえば住み続けたくない 4. 住み続けたくない

問15 あなたは、自治会活動等の地域活動（【問15-1】の項目に該当する活動）や地域の行事へ参加されていますか。（ひとつだけ○）

1. 進んで参加・協力している
2. 機会があれば、参加・協力している
3. 参加することはあるが、協力することはあまりない
4. 関心はあるが、参加していない
5. 関心がないので、参加していない → 問16へ（次のページ）

問15で「1」～「3」に回答された人におたずねします。

問15-1 それはどのような活動ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 行政区活動     | 2. 女性団体活動     |
| 3. 老人クラブ活動   | 4. 子ども会・育成会活動 |
| 5. PTA活動     | 6. 高齢者支援活動    |
| 7. 文化・スポーツ活動 | 8. 消防団活動      |
| 9. 公民館活動     | 10. 子育て支援活動   |
| 11. 障がい者支援活動 | 12. 環境保護活動    |

次は、問16（次のページ）へ進んでください。

問15で「4. 関心はあるが、参加していない」と回答された人におたずねします。

問15-2 参加されない理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 仕事を持っているので時間がない   | 2. 家事や育児に忙しくて時間がない   |
| 3. 家族の理解がない          | 4. 病人・高齢者などの介護で時間がない |
| 5. 健康や体力に自信がない       | 6. 行事や活動に関する情報がない    |
| 7. 人間関係がわずらわしい       | 8. 子どもをみてくれる人や施設がない  |
| 9. 身近なところに活動の場がない    | 10. 興味の持てる活動が見つからない  |
| 11. 一緒に活動する仲間や友人がいない | 12. 活動に経費がかかる        |

問16 あなたは、まちづくり、スポーツ等のNPO活動、一人暮らしのお年寄りの見守りや子育て支援等のボランティア活動（【問16-1】の項目に該当する活動）に参加したり、協力したりしたことがありますか。（ひとつだけ○）

1. 現在参加したり、協力している
2. これまで参加・協力したことはないが、今後参加するなど関わりをもちたい
3. 以前に参加・協力したことがあるが、現在参加していない
4. まったく参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない
5. その他（ ）

問16で「1. 現在参加したり、協力している」と回答された人におたずねします。

問16-1 あなたは、どのようなボランティア活動に参加・協力していますか。  
（あてはまるものすべてに○）

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. ひとり暮らしなどの高齢者の支援 | 2. 子育ての支援や子どもの世話      |
| 3. 障がいのある人の支援      | 4. 健康づくりや栄養・食生活に関する活動 |
| 5. 自然や環境保護に関する活動   | 6. スポーツ・文化・レクリエーション   |
| 7. 国際交流に関する活動      | 8. 生涯学習に関する活動         |
| 9. まちづくりに関する活動     | 10. 青少年の健全な育成に関する活動   |
| 11. その他（ ）         |                       |

問16で「2」と回答した人におたずねします。

問16-2 あなたは、今後、どのような活動に参加したいと思いますか。  
（あてはまるものすべてに○）

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. ひとり暮らしなどの高齢者の支援 | 2. 子育ての支援や子どもの世話      |
| 3. 障がいのある人の支援      | 4. 健康づくりや栄養・食生活に関する活動 |
| 5. 自然や環境保護に関する活動   | 6. スポーツ・文化・レクリエーション   |
| 7. 国際交流に関する活動      | 8. 生涯学習に関する活動         |
| 9. まちづくりに関する活動     | 10. 青少年の健全な育成に関する活動   |
| 11. その他（ ）         |                       |

問16で「3」または「4」と回答した人におたずねします。

問16-3 現在活動に参加していない理由、参加したいと思わない理由は何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 勤務などの都合で機会がない | 2. 引越して間もない        |
| 3. 参加方法がわからない    | 4. 時間がない           |
| 5. 興味がない         | 6. 他の家族が参加している     |
| 7. 家族の理解が得られない   | 8. 体調がすぐれない        |
| 9. 知り合いがいない      | 10. いやな思いをした・したくない |
| 11. 活動に関する情報がない  | 12. その他（ ）         |



ぼうさいたいさく  
防災対策についておたずねします。

問 17 あなたは、防災に対する日頃からの取り組みをどのようにされ、災害などの緊急時の対応について、どのように考えていますか。（それぞれに○はひとつ）

	はい	いいえ
a 最寄りの避難場所を把握している	1	2
b 安全な避難経路を把握している	1	2
c 災害などの緊急時の連絡方法を家族で話し合っている	1	2
d 日頃から地域の防災訓練に参加している	1	2
e 危険箇所を把握している	1	2
f 災害などの緊急時に、手助けが必要な近隣住民を把握している	1	2
g 災害などの緊急時に、高齢者や障がい者などの避難等の手助けができる	1	2
h 災害などの緊急時に、避難場所への誘導などの手助けが必要な状態にある	1	2

問 18 下の表にある地域における災害対策について、どのように思いますか。それぞれあてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものに○）

	必要だと思う	やや必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない
a 住民同士の日頃からのつながりと助け合い	1	2	3	4
b 支援を必要とする人たちへの支援体制の整備と地域での情報共有	1	2	3	4
c 避難場所や避難方法を話し合っておくこと	1	2	3	4
d 防災教育・防災訓練の実施	1	2	3	4
e 心肺蘇生や応急手当等の救急講習会の開催	1	2	3	4

ふくしせいさくぜんぱん  
福祉政策全般についておたずねします。

問19 あなたは現在、日々の生活においてどのような悩みや不安を感じていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 自分や家族の健康のこと         | 2. 自分や家族の老後のこと        |
| 3. 生きがいに関すること          | 4. 子育てや教育に関すること       |
| 5. 介護のこと               | 6. お金のこと              |
| 7. 仕事のこと               | 8. 近隣関係のこと            |
| 9. 住宅のこと               | 10. 地域の治安のこと          |
| 11. 災害時のこと             | 12. 人権問題(差別や偏見)に関すること |
| 13. その他( )             |                       |
| 14. 特にない → 問21へ(次のページ) |                       |

問19で、「1」～「13」のいずれかに回答された人におたずねします。

問19-1 悩みや不安について、誰に、もしくはどこに相談していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| 1. 家族・親族                  | 2. 近所の人               |
| 3. 知人・友人                  | 4. 職場の同僚              |
| 5. 市の相談窓口や職員              | 6. 民生委員・児童委員          |
| 7. 人権擁護委員会                | 8. 自治会(町内会、区等)        |
| 9. 社会福祉協議会                | 10. 保健所(保健福祉環境事務所)    |
| 11. 地域包括支援センター・在宅介護支援センター |                       |
| 12. 障がい者基幹相談支援センター        |                       |
| 13. 介護支援専門員(ケアマネジャー)      | 14. 福祉サービスの事業所またはその職員 |
| 15. 医療機関(医師・看護師)や薬局(薬剤師)  | 16. NPOやその他の民間団体      |
| 17. ボランティア                | 18. 学校・保育所・幼稚園        |
| 19. その他( )                |                       |

問20 あなたやご家族は、福祉サービスの利用に関して、これまでに不都合を感じたり不満に思ったことはありませんか。

- 1. 不都合や不満を感じたことがある
  - 2. 不都合も不満を感じたことはない
  - 3. 福祉サービスを利用したことがない
- 問21へ

問20で、「1. 不都合や不満を感じたことがある」と回答された人におたずねします。

問20-1 以下のことについて、どのように感じましたか。

	あてはまる	あてはまる	やや	ない	どちらでも	はまらない	あまりあて	ない	あてはまる
どこに利用を申し込めばよいのかわからなかった	1	2	3	4	5				
利用を申し込んだが、窓口でたらいまわしにされた	1	2	3	4	5				
複数の窓口をわたるなど、利用手続きが煩雑だった	1	2	3	4	5				
窓口の対応が悪かった	1	2	3	4	5				
福祉サービスに関する情報が入手しづらかった	1	2	3	4	5				
どのサービスが良いのかわからず、選びにくかった	1	2	3	4	5				
利用したいサービスが利用できなかった	1	2	3	4	5				
サービスの内容に満足しなかった	1	2	3	4	5				

問21 あなたは、福祉サービスに関する情報等、自分や家族に必要な支援・サービスの情報をどの程度入手できていますか。(ひとつだけ○)

- 1. 十分入手できている
- 2. 十分ではないが、入手できている
- 3. あまり入手できていない
- 4. まったく入手できていない
- 5. 今のところ、情報を得る必要がない

問22 福祉サービスに関する情報はどこから入手していますか。

(あてはまるものすべてに○)

- 1. 広報いづか
- 2. 市のホームページ
- 3. 市役所や支所の窓口
- 4. 地域包括支援センター・住宅介護支援センター
- 5. 介護支援専門員(ケアマネジャー)
- 6. 保健所(保健福祉環境事務所)
- 7. 福祉サービスの事業所またはその職員
- 8. 障がい者生活支援センター
- 9. 民生委員・児童委員
- 10. 医療機関(医師・看護師等)や薬局(薬剤師)
- 11. NPOやその他の民間団体
- 12. 社会福祉協議会の広報誌や窓口
- 13. 自治会(町内会・区等)
- 14. テレビ・ラジオ・新聞
- 15. インターネット
- 16. その他( )
- 17. 特にない

問23 社会福祉サービスを充実させていくうえで、行政と地域住民の関係について、  
あなたのお考えに最も近いものは何ですか。(ひとつだけ○)

1. まず家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が援助する
2. まず行政が実施し、できない場合に住民が協力する
3. 福祉に関する課題については、行政も住民も協力し合い、ともに取り組む
4. 社会福祉を実施する責任は行政にあるので、住民は特に協力しなくてもよい
5. その他( )
6. わからない

問24 あなたがお住まいの地区の担当民生委員・児童委員をご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. 知っている
2. 知らない

問24で、「1. 知っている」と回答された人におたずねします。

問24-1 地区の担当民生委員・児童委員をどの程度ご存知ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 地区の担当者の顔は知っている
2. 地区の担当者の名前は知っている
3. 地区の担当者の連絡先を知っている
4. 地区の担当者に困りごとの相談をしたことがある

問25 飯塚市には、地域福祉の推進を図るための諸活動を行う「社会福祉法人飯塚市社会福祉協議会」があります。あなたはこの組織をご存知ですか。(ひとつだけ○)

1. 名前も活動もよく知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動の内容はよく知らない
3. 名前も活動の内容も知らない

問26 社会福祉協議会は、様々な福祉問題の解決に向けた活動や支援を行っています。社会福祉協議会が行う活動・支援として、今後、充実してほしいものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. ボランティア活動への参加促進と支援
2. 住民による身近な支え合い活動への支援
3. 誰もが安心して在宅で生活するための福祉サービスの提供
4. 身近なところで福祉の相談ができる窓口の設置
5. 児童・生徒・地域住民を対象とした福祉教育の推進
6. 福祉に関する情報発信(インターネット等を含む)
7. 子育てに関する支援
8. 高齢者や障がいのある人など援助を必要とする人々やそれらの団体への支援
9. 金銭管理が自分でできない人の金銭の預かりや出し入れ
10. 判断能力が不十分な高齢者や障がいのある人などの、福祉サービスを利用するための手続きの代行
11. その他( )
12. 特にない

ちいきふくし かんれん ふくしせいど  
**地域福祉に関連する福祉制度についておたずねします。**

問27 あなたは「**成年後見制度**（※）」についてどのくらい知っていますか。  
 (ひとつだけ○)

(※) **成年後見制度**は、**認知症**や**知的障がい**、**精神障がい**などで**物事を判断する能力**が十分でない人の**権利**や**財産**を守るとともに、その人の**意思**を**尊重**してその人らしい**生活**が送れるよう**支援**する**制度**です。

- 1. 名前も制度の内容も知っている
- 2. 名前だけは聞いたことがある
- 3. まったく知らない → 問21へ

問27で「1」または「2」と回答された人におたずねします。

問27-1 あなたは「**成年後見制度**」の**相談窓口**を知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1. 知っている
- 2. 知らない → 問28へ

問27-1で「1. 知っている」と回答された人におたずねします。

問27-2 あなたが「**成年後見制度**」の**相談窓口**として、知っているものはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 市役所・地域包括支援センター
- 2. 法テラス
- 3. 家庭裁判所
- 4. 専門職（弁護士・司法書士等）
- 5. 社会福祉協議会
- 6. その他（具体的に

問28 今後あなたやあなたの**家族**が**認知症**などにより**判断する力**が**衰えた**とき、**成年後見制度**を利用したいと思いませんか。(ひとつだけ○)

- 1. 現在利用している、利用したことがある
  - 2. これまで利用したことはないが、今後利用したい
  - 3. 利用するつもりはない
  - 4. わからない
- 問29へ（次のページ）

問28で「3. 利用するつもりはない」「4. わからない」と回答された人におたずねします。

問28-1 上記の回答を選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1. 制度をよく知らないから
- 2. 利用する必要がなさそうだから
- 3. 手続きが難しそうだから
- 4. 後見人であっても他人に財産など個人的なことに関わってほしくないから
- 5. 後見人とのやり取りが面倒だから
- 6. 後見人へ報酬を支払いたくないから
- 7. その他（

とい せいかつこんきゆうしゃ じりつしえんほう せいど 生活困窮者（※）自立支援法（制度）について、あなたは知っていますか。

（ひとつだけ○）

（※）生活困窮者とは、就労・心身の状況、地域社会との関係性、その他の事情により、経済的な問題を抱え、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある人をいいます。

1. 聞いたこともあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが内容はよくわからない
3. 知らない

とい せいかつ こま ひと しえん む こんご しえん しく ひつよう おも 生活に困った人への支援に向け今後どのような支援や仕組みが必要だと思えますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 一時的な生活費の給付や貸付
2. 食材・生活用品の提供
3. 地域食堂・子ども食堂のような食事や学習の場等の提供
4. 一時的な住まいの提供
5. 求人情報の提供や就労訓練など就労に向けた支援
6. 家計相談や債務整理等の手続支援
7. 公的な支援制度の紹介や説明・関係機関との調整
8. 自己責任なので支援をする必要はない
9. その他（ ）

とい さいはんぼうし とりくみ すず 再犯防止の取組（※）が進められていることを知っていますか。

（ひとつだけ○）

1. 知っている
2. 知らない

（※）再犯防止の取組について

犯罪や非行で警察に逮捕されるなどした人のうち、以前にも犯罪などをしたことのある人の割合（再犯率）は半数に迫ります。

犯罪や非行をした人が、人々の理解と協力を得ながら再び社会を構成する一員として受け入れられることが可能な社会を目指し「再犯の防止等の推進に関する法律」が施行されました。国や地方公共団体は再犯防止の取組を進めることとしており、その一つとして国民の関心や理解を高め、協力を呼びかけています。

問32 刑務所や少年院を出た人が円滑に社会復帰できるように支援することについて、あなたの考えに特に近いものを選んでください。（あてはまるものすべてに○）

1. 住民の協力を得て社会全体として積極的に支援すべきだ
2. 行政や関係機関が責任をもって積極的に支援すべきだ
3. 少年院からの出所や認知症・障がいのある人の出所については積極的に支援すべきだ
4. 一般住民として生活できるよう事業所や市民への啓発が必要だ
5. 地域の安全・安心のためにはある程度の支援が必要だ
6. 特別な支援や配慮は必要ない
7. 関心がない
8. その他（ ）

問33 今後、地域福祉の基盤整備のために、飯塚市はどのような施策を優先的に取り組むべきだと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自治会（町内会・区など）などを中心とした地域の支え合いのしくみづくり
2. ボランティアやNPOの育成や活動を促進させる
3. 身近なところでの相談窓口を充実させる
4. 福祉サービスに関する情報提供や案内を充実させる
5. 住民やボランティア・NPOが地域福祉活動を行える場所・拠点を確保・整備する
6. 高齢者や障がいのある人が、安心して在宅生活を続けられるサービス提供体制を整備する
7. 高齢者や障がいのある人が、在宅生活を続けられなくなったときに入所できる施設を整備する
8. 福祉サービス利用者のニーズに対応させてサービスメニューを多様にする
9. 福祉サービスの質の担保、維持を目的とした評価（第三者評価）をするためのしくみづくり
10. 福祉サービス利用者の苦情を解決するしくみづくり
11. 認知症や知的・精神障がいなどにより判断能力が不十分な人への日常生活支援を充実させる
12. 心や体の健康づくりなどの保健福祉に関する取り組みを推進させる
13. 福祉教育を充実させる
14. 人権が尊重され、人と人とのつながりを大切にするためのしくみづくり
15. いじめや虐待を防止するためのしくみづくり
16. 子育てを支援するためのしくみづくり
17. 災害時に高齢者や障がいのある人などが安全に避難できるようにしくみづくり
18. 高齢者や障がいのある人、子ども連れ等、誰もが利用しやすい道路や公共交通機関、生活環境を整備する
19. その他（ ）
20. 特にない／わからない

問3 4 <sup>さいご</sup>最後に、だれもが<sup>あんしん</sup>安心して暮らすことができるまちづくりを<sup>ちいきじゅうみん</sup>地域住民、<sup>ふくし</sup>福祉  
<sup>だんたい</sup>団体、<sup>ぎょうせいとう</sup>行政等が<sup>きょうどう</sup>協働で<sup>すす</sup>進めるためには、<sup>ちいきふくし</sup>どうしたらよいかなど、<sup>たい</sup>地域福祉に対  
<sup>いけん</sup>するご意見、<sup>ようぼうとう</sup>ご要望等がありましたら、<sup>じゆう</sup>ご自由にお書きください。

<sup>きょうりょく</sup>ご協力いただき、<sup>まこと</sup>誠にありがとうございました。  
<sup>かいとうご</sup>ご回答後は、<sup>どうふう</sup>同封の<sup>へんしんようふうとう</sup>返信用封筒に入れ（<sup>い</sup>切手不要）、<sup>きってふうよう</sup>●月●日（●）までに、<sup>とうかん</sup>投函して下さるよ  
<sup>ねが</sup>うお願いいたします。